

1. 事業名	伊那市女性の活躍応援事業				
2. 実施期間	平成30年4月1日(交付決定後) ~ 平成31年3月10日				
3. 女性活躍推進法に基づく推進計画策定時期(策定予定時期)	平成29年3月	(策定済)・策定予定 ※どちらかにマルをつけてください。	計画期間(予定)	H29	~ H33
4. 地域の実情と課題	<p>○当市は若年層や生産年齢層を中心に人口が減少しており、地域の継続、発展のためには、昔からの性別役割分担意識や慣習を改革し、性別に関係なく、自らの力を発揮することが必要である。</p> <p>* 人口の推移 毎月人口異動調査(毎年10月1日現在) H24 70,051人 H25 69,372人 H26 69,070人 H27 68,600人 H28 67,921人</p> <p>* 生産年齢人口 毎月人口異動調査(毎年10月1日現在) H24 40,966人(58.5%) H25 40,012人(57.7%) H26 39,402人(57.0%) H27 38,731人(56.5%) H28 37,745人(55.6%)</p> <p>○市内企業における女性従業員割合は45.3%(H26経済センサス)と全国平均に比して低くないが、女性事業主の割合11.9%(H26経済センサス)、市職員管理職に占める女性の割合3.4%(H29.4.1現在)、女性区長0%(H29.4.1現在)、市の審議会等に占める女性の割合25.4%(H29.4.1現在)と、政策・方針過程に参画したり、起業したり、管理職として働く女性は少ない。</p> <p>○ワーク・ライフ・バランス(以下WLB)の認知度は53.5%、男性が家事に関わる時間は30分未満が51.4%と、仕事と家庭生活の両立に対する関心は低く、WLB実現のための環境が整っているとは言えない。(平成27年度男女共同参画についての市民アンケート)</p> <p>○女性活躍に特化した調査は行われておらず、当市の実情に即した女性活躍施策を進めるため、伊那市に住む女性の望む働き方や働く環境、企業の女性活躍推進やWLBについての意識や問題点をより詳細に把握分析するための調査が必要である。</p>				
5. 事業の趣旨・目的	<p>○本市の女性活躍に関する課題を抽出する。</p> <p>○女性が職場や地域で活躍することへの古くからの偏見や戸惑いをなくし、一步を踏み出せるようにする。</p> <p>○女性が活躍できる職場=男女ともにWLBを実現できる職場であり、企業やそこで働く人がWLBを大切に考える機運を高める。</p>				
6. 事業目標・重要業績評価指標(KPI)(全体) (※女性活躍推進法に基づく推進計画や男女共同参画計画などの数値目標を活用しつつ、客観的な数値等による事業目標・KPIを設定してください。) (※複数の目標・KPIを設定する場合は、適宜、行を追加してください。)	①平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	(※具体的な数値目標を記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)	市内企業における従業員女性割合	50% (アウトカム)	市内企業における従業員女性割合(H26経済センサス) 45.3% (アウトカム)
	②平成32年度まで(第4次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)	(※具体的なKPIを記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)			ワークライフバランスを知っている人の割合(H32) 36% (アウトカム)
	③事業目標(全体)	(※具体的な数値目標を記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)	女性事業主の割合(H33)	15% (アウトカム)	女性事業主の割合(H26経済センサス) 11.9% (アウトカム)
	④事業KPI(全体)	(※具体的なKPIを記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)			女性交流会参加者数 50人 (アウトプット)
7. 事業内容	<p>「企業アンケート調査」 地域企業の、女性活躍への意欲や、求めている女性人材、WLBに対する意識を調査し、活躍しやすい環境作りのため、調査をもとに企業側と働く側の意識のすり合わせを行う。(企業への提言、女性の目指す姿の具体化)</p> <p>「交流会の開催」 女性が、管理職へのチャレンジや、起業、女性の進出が少ない職種での就労に前向きになるためには、実際に地域で活躍しているロールモデルを得ることが必要であり、各界でいきいきと活躍する女性と、これからチャレンジしたい人、起業を考えている人、学生などが、業種や年代を越えた交流の機会を創出し、情報交換や育成の機会とする。</p>				
8. 事業の実施により期待される効果	<p>・女性交流会で活躍する女性のロールモデルを得ることで、性別に関係なく活躍できることを認識し、女性が前向きになる。</p> <p>・男女ともに働きやすい環境や働き方について、企業側、働く側がともに考える契機となる。</p> <p>・女性が活躍する働きやすい環境に人材が集まる。</p>				
9. 事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	<p>・女子会プロジェクトと連携して、次年度も企業や市民対象に女性活躍に関する調査を行い、効果を検証する。</p> <p>・交流会を機に女子会プロジェクトの参加者を増やし、情報交換や、地域課題への取り組みを行っていく。</p>				
10. 事業の実施体制 ⇒要件③「官民連携・地域連携」	連携体制の名称	女子会プロジェクト	女性活躍推進法に基づく協議会の設置状況		
	構成団体	伊那商工会議所、伊那商工会	設置の有無	無	設置(公表)時期
	各構成団体の主な連携内容	アンケート内容の検討 交流会の企画運営			※連携体制が法に基づく協議会の場合「○」を選択
	他の地方公共団体との連携	<p>8市町村(伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、辰野町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村)で構成する上伊那広域連合が事務局となっている「上伊那地域若者人材確保連携協議会」は、産業振興や人材確保に取り組んでいる。特に大学進学を機に県外へ転出した若者が地域に戻って就労するよう、地域企業の情報提供を積極的に行っており、女性の人材を地域の企業が獲得し育成することで、女性活躍の機運を高める。</p> <p>企業アンケートの結果や、交流会の女性の声をまとめた冊子により、地域に適した人材確保策を検討する。</p>			
11. 女性活躍推進法に基づく国の「女性活躍推進」に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針に準じた公共調達における取組	<p>① 実施済 ② 平成 年 月 から実施予定 ③ 検討中 ④ 実施予定なし ※いずれかにマルをつけてください。</p> <p>①、②の場合、取組内容 (※国の取組指針に準じて、総合評価落札方式や企画競争方式による調達において、ワーク・ライフ・バランス等推進企業(えるぼし認定企業等)を加点評価する取組等について記載してください。)</p>				
12. 担当者名及び連絡先	伊那市役所企画部企画政策課 人権男女共同参画係 北原(0265-96-8104(直通電話))				
13. 事業実施及び連携工程	様式第3号の2に記載⇒要件④「政策連携」				
14. 経費の内訳	様式様式第3号の3に記載				

注)本様式はA4で3枚以内としてください。